

カンプトン學園
カンプトン土曜學園
上級生(高卷三)

綴方コンテスト文集

(自筆自作)

一九三八年七月

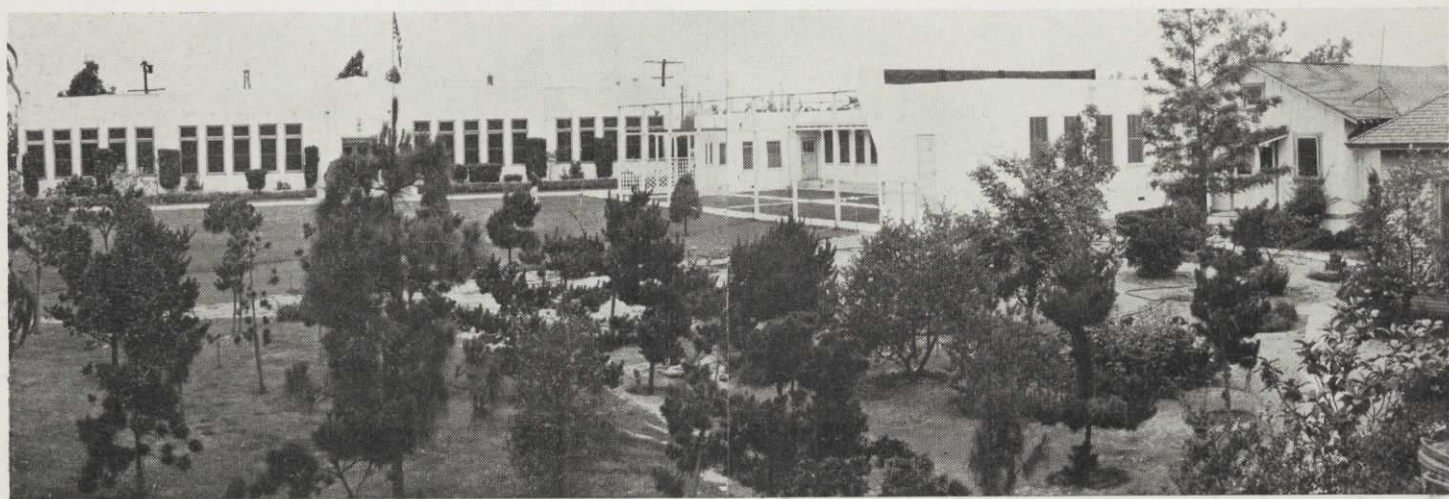
目

次

1	はしがき	
2	私の尊敬する人	一等(レ)楯岡 夕へ
3	私の尊敬する人	二等(サ)坂上 幸子
4	私の好きな人	三等(レ)松下 洋子
5	私の好きな人	四等(サ)岡 猛
6	私の尊敬する人	五等(レ)山内 初美
7	私の尊敬する人	佳作(サ)鈴川 博
8	私の嫌な人	佳作(サ)錫本登美子
9	私の好きな人	佳作(サ)坂上 道子
10	私の尊敬する人	佳作(サ)足立 正子
11	私の尊敬する人	(サ)山田 徹二
12	私の好きな人	(サ)栗根 英子
13	私の好きな人	(サ)谷口 妙子
14	私の嫌な人	(サ)廣瀬 清子
15	私の尊敬する人	(レ)城石 文男
16	私の尊敬する人	(サ)奥田 週平
17	私の嫌な人	(レ)谷川 一夫
18	私の尊敬する人	(レ)下村 菊枝

19	私の好きな人	(レ)大月 高根
20	私の尊敬する人	(サ)池尻みどり
21	私の好きな人	(サ)佐々木敏子
22	私の嫌な人	(サ)村田八重子
23	私の好きな人	(サ)鈴川 深
24	私の尊敬する人	(サ)武井 純夫
25	私の尊敬する人	(サ)齋藤 道子
26	私の尊敬する人	(サ)淺野 幹子
27	私の好きな人	(サ)三浦 澄子
28	私の嫌な人	(レ)佐々木 武
29	私の好きな人	(サ)谷口 正子
30	私の尊敬する人	(サ)安保 富夫
31	私の尊敬する人	(サ)加藤 妙子
32	私の嫌な人	(サ)柴田 富夫
33	私の好きな人	(レ)松下 好子
34	私の尊敬する人	(レ)石井 清
35	學園の歌	

佳作以下は成績順にあらず



カ ン プ ト ン 兩 學 園 全 景

はしがき

先週カンパトン学園並びに全土曜
学園の上級生高等小学讀本巻の
三)三十余名の日本語の生徒を通
うしての實力をみるために綴方コン
テストを行つて見ました。
規定 予告なしの即題

時間二時間

尊敬する人、好きな人
又は嫌な人

考書の使用を許さず

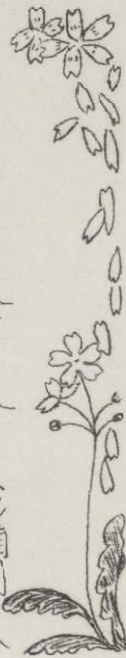
作らば未だ理想的の成績を挙げ
て居るとは申しかねますが大体に於て
私の日本語指導方針であるところの
日本語の生活化(英語の思相や英語
の生活の直訳的のものではないこと)が
實現されつつあることを知つて非常中
に満足して居ります。

後未幾度となく文集や邦字紙
上に発表した当学園生徒の綴方
には多少の訂正を加へて割合に完
全に近いものとして居りましたか
今回一切添削せずに誤字やあて
字までも其のままにして原文を発表
することに致しました。

本小学校に十名中にはかつて日
本の一人名も居りません。土曜学園生
徒中には故国の高等小学を卒業
せる者一名尋常小学を卒業せる
者二名其の他四五年在學したこと
のある者も数名居ります。が不幸に

してこれ等の生徒は一名も入賞しま
せん。勿論綴方が拙くとも日
本語の生活と實力を有する者も甚
くありませう。單に其のみにて生
徒の實力を測定する訳には行きま
せんが一般に綴方成績の優秀なる
生徒は日本語の實力あるものと観
て誤はないと思ひます。浮承知の如
く日本の社會に生活して居る人々
たとへ字が讀めなくとも書けなくとも
日本語の生活を有して居るので
あります。から日本語の解らない者
はないのであります。随つて二学科
として學んだ國語なども直ちに生活
化して實際に活用される様になるので
あります。

然るにこちらでは日本語学園通學生
の大部分は日本語の生活を持つて居な
いのです。よしんば生活があつたとして
もそれは極めて貧弱なため折角の學
園で國語を習つても中々実用的にはな
らないのであります。日本語を學問的
に(國語教授のみ取り扱う場合には大
體に於て生徒の頭腦のよさと勤勉の
程度によつて日本語の生活の有無や
其の程度に關係なく相当の成績を
擧げるのは左程困難ではありませう
さうした生徒等の日本語は殆ど役に立
たなかつたことを経験して居ります。
命題讀本などにある事柄を一生懸命
言へたり書けたりしたところ、日本語
生活の豊食程度は分らないのであり



一等 私の尊敬する人 (レ 楢岡タヘ)

与へられる物で満足すると云ふ事は
乍らに難しい事である。私共は健康な
体に恵れ、両親の暖いところ、いたか
れながらも尚衣服や食物等に不平を
覚える事がある。私共は常に感謝
の心を持つて日々を送りたいと思ふ。
先年盲人として有名な若
橋武夫先生が、度々来たり近頃の町で
「光は闇より」と題する講演をなさつた
事がある。其の時私も聴きに行つた一人
であつた。盲人とは思はれないほど朗か
なお顔の先生の、闇から光をみいだされ
た生涯の涙ぐましい物語りであつた。
若橋先生は青年の頃は私共と同
じ青春の希望に燃え、来たる夢
に心を躍せつゝ、大学に通つて居
られた。けれども不幸に風邪がもと
で眼病にかかれ、多くの専門医者の
金力を捧げた手術と母上と姉上との手
厚い看護のかひも無くしつめいされた
のであつた。其は信仰なき者への大
きな打撃であつた。それにして遂には

最後の夜に、いよく此の世とも別れをし
ようと思つたのであつた。其の思ひはとげ
られなかつた。日頃から我が子の様子に
不信をいだいて居られた母上が、飛ひ込
んで来て「何でもいゝから生きて居て、未
れ其の母の一言は何にも代へ難い尊
い言葉であつた。其の母上の言葉によ
つてよみがへられた先生は、尚も全く信
仰によつて一層の励みを受けた。先生の
前である。新生活涯を迎へられた先生の
にはもう一つの喜びが待つて居た。其は
盲人でも学問が出来ると言ふ事であ
つた。人々の非難を受けながら又日
Cからやりなほすと云ふ事は一通りの苦
勞ではなかつたのである。英國留学
の二年間は、本當に言葉にも云ひあら
はせまいほどの、みじめな物であつた。
けれども信仰は強い物である。如何
なる艱難をも耐える事が出来る。
神は何人ももみすてくれた。あつた。先
生の上にも幾度か神の恵みがあつたの
である。感謝です。と云ふ。と云
はれたあの夜の事を思ひ出す。
私は先生の講演を聞き、又先生の
本を幾度も讀んで居る中に、尊い教
へを受ける事が出来た。其は何ん
な不幸の中にも、光はみいだされるも
のだと云ふ事である。私は先生を尊

厚い看護のかひもせきしつめいされたのであつた。其は信仰なき者への大きな打撃であつた。そうして遂には私はもう生きて居ても何にもならぬ。親姉弟へ心配をかけるばかりだから層の事死んでしまおうと心に決されたのであつた。其の年も終りを告げる



世界の中には今まで歴史上に威名を輝かし萬民の尊敬を受けた人又今尚尊敬を受けて居る偉人傑人が非常に多い。現在世の人々大なる尊敬と敬慕の的となつて居る。女性を敬む心から尊敬して居る。それは盲聾啞とふ三大苦難を突破し光明と希望の世界へ進出し社會の盲聾救済の爲 献身的努力を續けて居るヘレンケラー女史と其の恩師サリガアン女史である。私は最近ヘレンケラー女史が御生涯について著述なすつたヘレンケラー自叙傳を拜讀したが、女史の忍耐克己あやゆる難關や勞苦にも氣を挫かぬ、正々堂々と戦ひ遂に大勝利を獲得した事又サリガアン女史が影の様に附添つて溢る程の愛を以て御指導なすつた事などは唯々感激する他はなかつた。

ヘレンケラー女史が如何なる立派な人格者であり又學問上の權威者であるかは、ふことは周知の事である。ヘレンケラー女史は幼少の頃から特に學問には

へを受けける事が出来た。其は何んな不幸の中にも光はみいだされるものだと思ふやある。私は先生も尊敬しつゝ、いざある生涯を送りたいと思ふ。

（植岡久書）

この人達と一しよに競争して見たつた。その大望を抱いて居られた。やがて首尾よく入學試験に合格し、希望通りランドクリフト大學に入學した。盲聾啞の彼の女史は余りに荷が重過ぎた。何度も途中で倒れやうとしたが其の度毎に一層元氣を出し熱心に勉強なすつたので、卒業の際には名譽の優等賞を授與された。

これはヘレンケラー女史御自身の努力にも依るがサリガアン女史の援助なしには到底實現出来なかつた事だらうと思ふ。サリガアン女史はヘレンが五才の時に家庭教師としてケラー家に入り、今日に至るまで一つとヘレンの傍に附添つて學校では先生方御講義をよく聞いて後でそれを一々ヘレンの掌に書いておやりになつたのである。

今日ヘレンケラー女史は五十五才サリガアン女史は七十五才の御老齡に達せられて居るが、御二人とも尚盲聾救済運動の爲 各國を巡つて講演を行つたり雜誌に記事を書載したりして、あつじやうとふことである。

私は此の二人の女性を模範として、困難な事でも出来な事はないやればと出来るといふ氣持で世の荒波を漕いで行かうと思ふ。

（坂上幸子書）

僕が好きな人として第一に挙げるのは山内一利君と城石秀美君であらう。二人共小學校時代からの友達であり又學問上の競争者である。

僕が彼等と最初に接したのは恰度五年許前の五年生の時であつた。山内君の頭は五分利比城石君はよく肥えて人に見られて可愛らしいと言はれる顔の持主で中々やんちゃ者であつた。

七年生になつた頃から山内君髪を撫でる癖が附き服装にも氣を配する様になつた。城石君はそんな暇が無かつたらしい。學問に精を出し、今年迄優勝等生の一歩路を歩いて來てゐる。が來年からはちとしや水を見て見たい風を見せ居た。

山内君は七八年生の頃はよい成績を擧げて居たが最近ばかりか人はしんない。代数は多數といから習はず幾何も代数がなういはお來なりから止めた事を今になつて悔いて居た。

將來の大飛行家である城石君は、勉強／＼で山内君とは別れ／＼である。

學問上には多少の差異があらうとも二人は明朗活潑や人に好まれる性質を有して居る。何時も落着いて餘裕故にとして居る點は大いに對ふべきであると思ふ。十年生を終へジニアカレダに行く様になつたう大いにやうと誓ひ合つたが山内君は心配らしい顔を別れた。來學期に會ふ時は勉強家となつて居るであらう。

僕が彼等と特に密接になつたのは河井清君がガーデーへ轉校してからで好ましい人々だと前から思つて居たからであつた。英語や幾何は秀美君のお手の物で歴史や運動は山内君の得意の物故僕はその間に居て兩者の長所を見習へばよい譯である。僕に此の様なよき親友がある事は誇りもよいと思ふ。

城石君は憧れの空に飛び山内君は日系市民の指導者たる日は何時ぞ僕は驚見を心地にして此の日の一日も速く來らん事を希ふ。(岡 猛 書)



五等

私の尊敬する人
（山内）初美

有名なフロレンスナイチンゲールは大変優しい勇気のあつた御方であつた。彼の女はイギリスの片田舎に生れ、幼少の時分から大層情深い人で、或時隣の大が遠端に怪我をして苦んで居るのを見て、不自由な生物を見捨てて置かない彼の女は小さな子供の様に丁寧にはう帯いて傷をまいてやつた。又彼の女は村での大評判の親孝子者であつた。段々生長するに随つて学校では模範生と云ふは、家では親孝子者と云ふは、二十五年は早返さず暮つた。平和であつたイギリスはクリミアの戦争が勃発してからは出征で大混乱になつた。毎日の報告には何万と云ふ兵隊が負傷したり戦死したりするとの惨めな話を耳にしたナイチンゲールは起きても寝ても陣地で働いて居る兵士等を見てばかり考へて居た。其処で彼の女がいつと居られず多く、イギリスの婦人等と加つて若き看護婦として居る。戦地へ向つたのであつた。戦場での仕事は容易な仕事ではなかつた。テントの中で負傷した軍人を多厚く看病した。又皆の負傷兵が安らかに寝て居るかどうかと真夜中にこつめりと起き

て薄暗いらいそくをとぼして椅子をよくくねつた。こうである。斯うして真心から優しく看護された負傷兵等は白衣のナイチンゲールを心から尊敬して居た。戦争から本国へ帰へつて来るとナイチンゲールは女帝からお褒めの御言葉と勳力を戴いた。幼少に頃から勇敢で情深かつたが、後の女は戦地へ出て、斯うの如き華やかな生活から来たのである。

何うに思ふに、自分がいとおしく思つた事は、皆お断りすると云ふ勇気がなれり。学校に於ても家に於ても社会へ出て来てもさうであると思ふ。

私は学校では先生に質問をした。りする勇気が足らないから、当にナイチンゲールの様な勇気を持たなければならぬと思ふ。イギリスの白衣のフロレンスナイチンゲールこそ私が模範とし、そして最も尊敬する人である。

（山内）初美 書



佳作

私の尚書敬する人
(サ)鈴川博書

一九二八年、キネマ界に大か
くめいが起った。アル・ジョルソンの「ジ
ズ・シンガー」といふ映画がトキ
の可能一瞥見せしから普通通映
畫の人氣ががた落ちした。
そこは破産せねばならぬと、撮映会
社の始末である。
MGM撮映所も此の思掛けな
く不意打に会った。トキキを
撮るせつむもなければ、電氣、音
機、ラデオ等に理解を持つて居る
人、勿論一人も居らぬ。これはと鬼
子人は皆、先立の他の撮映会社の
かくとくを居て身に入らぬ。
仕事があつて居るに立たぬ。
其處でMGMはドグラス、シエラー
を其の役に附けた。任命された
ドグラスは當時、唯々女優優美な
の兄と知られて居る。彼は未だリ
ウッドに来てゐた三年前のたぬき
ふ、青年であつた。
彼は電話もラデオも海員地に
つた。輕験は無し、唯少年時代
に色々と實驗をしてみた。彼は
あるのみであつた。けれど彼は
其の輕験の爲に任じられた。は
種々の改良を出した彼の研究心

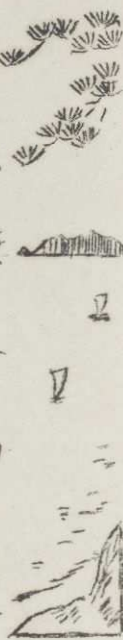
を彼とめられたのであつた。先
づ彼を攻めた問題は音をレコード
吹込みにするか、フィルムに吹込むか
であつた。研究心の強い彼は、兩
法をやつて見て、色々な改良を重ね
わた後、フィルム吹込みが、いづれ
有望である事を発見した。
ドグラスは立派に彼の責任を
果した。一年足らずで先づい
撮映会社をおひこして一九三〇年に
は、あるかに優へた映画を作る様
になつた。今日MGMがほこり
して居る「サンフランシスコ」は、
マリエッタ・グッド、アリス・ジョ
ラス、かんしくした映画である。
優美、俳優の名がたれた。後
世になつても使用されるであらう。
彼はハリウッドに居ても、夜行機を
まず、暇間には一人で飛行機を飛
せて楽しんで居るといふ。
彼が、ゆうわくの多い、映画界
で、今日まで、真面目に未知であ
つたトキキ、映画を先に立って
研究し、通した。彼は、強さ、彼は
眞の研究家だと、尚書敬する人
あると思ふ。

(鈴川博書)

佳作

私の嫌な人

五輪本をきき子



最初人に合つた財のいんしやうと云ふ物
はひどい物である。私がまだハイスクール
へ通つて居た財の事である。スパニシの教
室で皆は一心に勉強をして居るとがター
と云ふ亂暴に戸を開ける音がしたと思ふと
驚く程着きさつた見知らぬ日本人の女生が
すました態度で入つて来た。先生も生徒も
あつけに取られ居た。其の財私はまゝ
いやらしい人だと思ひだ。
いにくにも其の財が私のとなりて坐る事
になつた。と教室の中には他にいくつらだつ
て空いた席はあるのだがからわざ／＼私のと
なりて来い坐らなくともよさ、うう物にと
思ひ花子さんが授業中ジヤズを歌ひながら
手を振り廻つた。人が一瞬懸命になつて勉
強中何そんまにがどりつゝ勉強して居る
のと背をいやと云ふ程折つと云ふ揺る事が
一々私の氣にくわぬ。自分も勉強をしな
いからと云つて廻りの人のさまたげまじし
くと思ふとますます嫌になる。授業中一
度も花子さんの手を振り向きもせず甲もき
かない事はまづはなかつた。
或時は附合ひもしない中からあの人は嫌
いだのときめいてしまふ揺る事は思ひくせだ
花子さんはあの揺るも愉快ではがらん人
に違ひない。今日からいやな予備りはすま

いと思ひなほし元氣を出して出掛ける。が
花子さんに近寄り此の頃流行のビグアップ
ルとか云ふ変なダンスをほこらうけになさ
つて居るのを見ると又かつとしづきがあの揺
る人にわざ／＼物まじ云ふに行き物のとそ
こ／＼で後を振りかへらず逃げ出す。
白人の学生が花子さんの揺る方は日本人
の恥だ等と口にする。嫌だ／＼と云ふ氣持
がたままり花子さんとのそ／＼のあいさ
つもするのが恥の揺るに感ぜられ出来るだけ
合わぬ揺るよけて居た。私は何も恥る事をし
た事はなかつたから逃げる必要はないと思
分をもち折つたが見るのまいやなので思わ
ず知らず花子さんをよけて居た。
あの人は嫌だ此の人は嫌だと云ふのはし
ゆうやうのたりないと思ふ事にあらぬだか
ら／＼とたへず思つて居るが私は此の揺るを
い／＼と過ぎた方とはどうして思ひ想が合はな

(鈴本をきき子書)



佳作 私の好きな人 豆坂上道子

私は今まで多くのお友達と交際して見たが一番好きな一か月前の出来たお方は横崎静枝さんである。私が一九三四年に再渡米してカンプトン学園に来た時初めて静枝さんにお目にかかったのが最初が丁度私の前の席にあつたので最初の日から学校の様子になれない私に何やかにやと親切にお世話して下さつた。お言葉も一緒に食べたりして何時も優しいお言葉をおかけ下さつたのでお陰様で少しも不自由な淋しい思ひもせず大変嬉しく又有難かつた。

静枝さんと私の友情は日に深く深くなり毎土曜日はお会いするのも待ちきれなくなつて毎週必ずお手紙のやり取りをする様になつた。静枝さんが御欠席なさつた時は欠席の理由と二人でお淋しいでせうとお慰めのお手紙を下さり、私が欠席した時は学園で学んだ事を一々細かに書いて送つて下さつた。或時は二人で同じお弁当箱を買つて日本御飯を持参したり、リリヤンダーを作つて交換したりして楽しい日を送つたが今年の三月に静枝さんは御家庭の都合で日本へお帰りになつた。心から尊敬する親友とお別れするのは大変名残惜しかつたが止



玉を得なかつた。これからはお互いに手紙で永久に友情を續け、又何時か會へる日を樂しみにして居る。
(鈴本みき子書)

佳作

私の尊敬する人 (サ) 足立平

私の一番尊敬してゐる人は隣のまり子さんである。まり子さんは年は十七八でせうが、近所ではまりちゃんやんは生佛のやうな人だと言はれてゐる。仕事でもいやな事でも頼まれると、決していやな顔をお見せにならない。

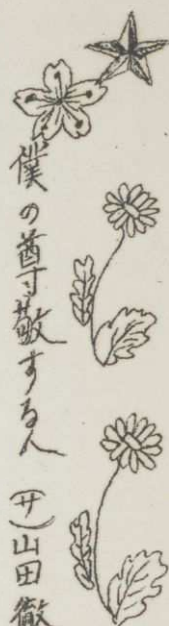
子供の時に重い病氣におかゝりになつたため今ではびつこをひいていつしやるので、畑へ出てのう仕事が出来ないので、家にゐてお掃除や料理の外、やぶれ物のつくろいやお洗濯をなさる。弟の二三雄さんのお世話を一通りした上、他人の世話までするのだから好かれる。まり子さんは、小父さんと違つて非常に親切で情のある人である。小父さんは、お寺や小兒院から来る人を大変嫌つてちつともきこふさうないが、まり子さんは、自分分の父からかくして母と二人で少しづつお金をためてはききつとコートを出す位情のある人である。私は小父さんや小母さんのとげへは行かないけれどもまり子さんだけにはよく相談しに行く。この間も、ヘレンの家でパーティーがあるからいつしやいと言ふ据持狀が来たので、まり子さんの家へ行つたヘレンと言ふ方をよく知つた。明日学

校へ行かねばならぬし、私は行つてよいのか悪いのか迷つて聞ぎに行つたのである。母はおそれなさうから止めなさいと言ふし、まり子さんは、キーストンでは金田男が夜遊びすると云ふ悪い噂があるからお止めにしなさいとおつしやつたので私は、ことはつて行かなくつた。二三日して小父は、まり子さんの言はれた通り、あのパーティーは、シルバードパークのホールへダンスに行つたと言ふのを聞いた。

私は、このことがあつてから前より、もつとまり子を好きになり、心から尊敬するやうになつた。

足立平子書





僕の尊尊敬する人 山田徹二

僕の最も尊尊敬する人は古今の偉人ではなく、又大政治家にありず、我が父母なり。
我が父母は僕等々を愛し、又僕等の事をいつも心配してくださる人は此の世の中にあるまじい。いつもあけられ、此れよりあの難苦の社會に第一歩をふみ出さんとして居る僕等の事について考へ心を痛めて居られるのだ。如何にしたらならば僕等の將來が幸福であり、又最も有益に一生を過ごす事が出来るだらうかと。
我が家でも此れが父母の悩みのた。僕等がどうして想像する事の出来な、深いつらさ、苦が陰にあるのだ。僕等思ふ。父母は尊いつ人生を僕等の為犠牲にされて居るのだ。もしも此れ経僕等を思ふ心が無かつたならば、あこがれの祖國日本へ歸り、餘生を安樂に故郷で過ごされるのだ。何んぞ此の異郷の地で汗を流し、あつぱくを受けなかり苦勞されるのであらうか。併し子を思ふ一念がこれを實現するのをさまたけて居るのがある。何をおいても子供が第一に來るのであつて子供の為ならば苦

勞力貧乏はなんでもなつた。僕はよく朝早く夜おそくまで粗末な着物をまとい曲園で働いて居る。第一世諸氏の尊い姿を目にする時、實に感に打たれるのである。生るの爲に働いておられる許りではないのだ。僕等の爲だとつくづく思ふ。第一世諸氏に頭をさげずには居られないのである。

又今日の不景氣のおりにもかつわらず、大變にやつて下さるのだ。何の爲かこれ僕等を立派な人間としたつかりである。故に僕等はあるかんとして居られ、父母の努力が水泡にならな、僕等の任務に全力を盡してやうなけれはならぬのだ。父母の恩は山よりも高し、海よりも深し、と言ふことわざがある。僕に父母の恩は偉大なものであると感ずる。父母こそ僕の最も尊尊敬する人である。

(坂上幸三書)



私の好きな人

(サ) 栗根英子

何時見てもほがらかなほ、笑をた、えて迎えてくれる百合子さん。一の友達とは言へないが、学校でも同級生、夏休みには一緒に家で働くのである。

百合子さんは四人の姉妹と云はる。病身の母のかいほうをし、仕事口があれば何処までも働きに行くのである。今二年間、夏休みを利用して少しの小遣でも父に手傳をしようと思ひ家に働きに来て居る。

百合子さんの働き振はともかつはつて一緒に仕事をして居る者までが知らず、つり込れて働くのである。午前暑くてたまらず皆ぐんにやりとしはれた様になつて居る時でも一人で歌を歌いながらせつとしてゐる。

私が彼の女の嫌ひな点は無口の私にべら／＼しゃべるのである。学校での出来事家での出来事、時には世間話をする。聞きたい様な珍らしい事もあるが早口ではつきりわからず、今のは何んでしたと聞き返すのか面倒で仕方ない。時にしやべり過ぎて妹とけんやわをしたり、時には理屈にあてはまらない事を言つて笑はれる。

日本語をあまり学んで居ないので日本語で話して居る時はむちやである。然しやうぢきであつたりした人一寸もお世辞の無い点では皆から好かれ交際も多いらしい。百合子さんのあまり腹

を立てないのを知つてゐる弟達はイリコとあだなして居る。

妹さんとはまるで氣質も違ふらしい。妹さんは二人とも短気者で姉が何を言つても「はい」とすなほに聞かない。始め、何か「二口ぶつ」と言つてからではやらない、それでも百合子さんは腹では思つて居るらしいが口や顔には現はさぬけれどがまんが出来ぬ時には「ギャン」と恐しいけんまくである。

友達になる人はいかに気性の似た者が一緒にになると言ふので無口の私がおしやべりの百合子さんとは仲よくするので笑ふ人もあるがお世辞の無いしやうぢきな点から次第々々に仲よくなつたのである。

(坂上道子書)

私の好きな人 (サ) 谷口妙子

下の床屋のかほるさんとお友達になつたのは昨年の事だつた。それはしと／＼雨が降つてゐる日、私はお友達と別れて一人歩いて居た。早足の私は何時の間にかかほるさんに追いついてしまつた。越す事も出来ず少し足をゆるめて後をついて居た。すると、かほるさんは後を振り向いて一緒に帰りにませうと思つた。私も前から友達になつたかと思つて居たので喜んで一緒に歩いた。色々話し合つて居る中、

私達は前からのお友達の様にお親しくなつた。こうして私達は登校する時は必ず、又歸校する時も會ふと何時も一緒に歸る様になつた。

かほろさんは日本にいらつしやつたので、また英語の方は自由に話さるゝいので、大概日本語でお話になる。大へんおとなしくきりやうの良い方だ。緩か一つ上なので、学校では一緒にならぬい。私は之を惜しく思つて居る。お正直な方なので、エイフルフルデーにはよくたまさされて、失敗なさる。

かほろさんのお母さんが時にはお家にいらつしやるが、おれは本當によく手傳つて呉れます。よく仰つて、喜んでいらつしやる。かほろさんは学校でもお家でもおとなしく、正直でいゝ方だ。私はかほろさんの様ないゝ方をお友達に持つて、心から嬉しく思つて居る。

(坂上道子書)

私の嫌ひな人

(サ) 廣瀬清子

体格は人並以上だと大いに自慢してゐるが、頭のてつぺんはつる／＼して腹はかすかにつき出て居る。こういふと、そうぢやいもんか。いと四度も五度も眞赤な顔をして連發するのが常だ。

叔父さんの悪口でも日本の事でも話題に上るとあはを吹いて無中になる。平生にく／＼してとても人良しに見えるので、少しでも文腹したら氣違ひの様だ。それでしやくでも黙つて居る。

或る日台所で晝飯の支度にてゐてこまひしてゐると叔父さんは入つて来て、一々なべのふたを取つて中を覗いて見た。それでも承知しないと見えて、アイヌボックスを開けて、あれこれいかにもぶたの様にむしやほつて腹一ぱいになるとアイヌボックスも開めずに出て行つた。叔父さんは大分もうろくしたなあと思つて、叔父さんのわけ頭きくらんでやつた。

頭と云へば叔父さんの頭は大変有名な物だ。髪は黒人の如くきり／＼と、いんではげた所に二本の白毛が眞すぐ立つて居る。始終鹿兒島語ではげびんた／＼といひやかしてやる。叔父さんは目を光らして怒る。だが又、相変らず頭の良い人は皆はげな物だといふやうする。叔父さんは今笑してやる。これがしやくになるので、二世は日本語はちつとも解らない様な事をいふ。叔父さんはアメリカに十何年も居るがトマトの他、何をしつて居ると弟達まで口を入れるので大けん／＼になつてしまふ。

男は着物を氣にする物でないと聞くが、叔父さんは女の様に氣をくばる。百姓の息子ながらシヤツを毎日替へる。そして最新流行のパンツだと言つて、ヒリピンが着用する様な胸まで来るパン。これはくので、子供の様だと笑つた事がある。叔父さんは余り女の様にちよつとした所に氣を廻すので大嫌ひだ。男らしくもつとしやく／＼としたら良いのにと思つた。

(坂上道子書)

僕の尊敬する人

三城石文男

僕、何千、何万、何億人と云ふ人物中
の最も尊敬する人はカンプトンジニ
ーニヤカレッジでスバニシの教師を
して居られるキンカク先生である。

一番最初僕が彼に会った時は何
と言ふに二つな人であらうと思つた。
然し生徒の話によれば実に立派な
人物である。

毎日の教室に通つて居る中に
キンガク先生の禮儀正しき事他人を
愛する事等彼の美點を初めて知
る事が出来た。
こゝで居る中に日々に先生と親
しくなり遂には苗子敬せずには居ら
れなくなつて来た。

僕等を教へるにも實に丁わいで
何事をするにも誠意を持つておや
りになつた。一年間の中、先生には
之と言ふけつてゐなく、何時も僕等
に立派な模範をよめられた。
或偉人の格言に他人を正す前
に己を正せしとは實にキング先生の
事を言つたのであらう。

リンカーン、ワシントン、エヂソン等、数切
れぬ偉人を居れども僕が心から
尊敬する人物はキング先生に外
ならぬ。

僕の尊敬する人物

奧內週平

あのアメリカ南北戦争後、ジョージア
シントンには生れた。その當時黒
人の爲に中学校が創立された。
その當座の爲であり、それから
リカ的全黒人等は、その学校にや
つて來た。

彼も他の黒の楊に此の学校にあり
かれて、遂々と毎百里もの遠い所か
らやつて来り、たが試験の結果落
ち、歸へられ、つ学校の口方の上に立つんで
遠方にくれてゐり、た。すると一人の
女の先生が来り、たので、そのわけをお
聞になり、たので、その落ちた点
末をくわしく語り、た。その先生
は、かわいそうに思つたので、あり、せ入
小使にでも取立てやり、たかつたので、
座り、た。では此の教室を掃除事
して、知らん方、さいと言はれたので、あ
ります、が、彼はそれどころではなかつ
たので、あります、が、言はれたまゝに、従
つて、此の教室を掃除事、た。掃除
事がすんだ後、先生は、テールの上を、
白なハンケチで、ふい、見、た、が、ホ、コ、リ、
つ、も、付、いて、あり、た、ので、非常、に、驚、き、
て、此の事を、校長先生に、報告、し、た。

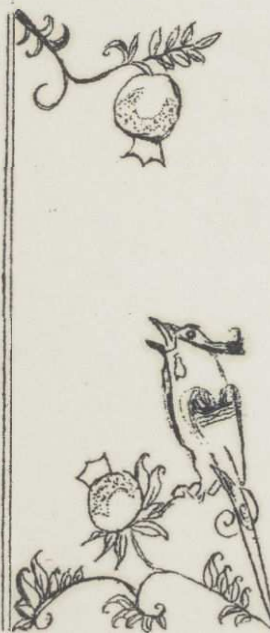
た。
彼は二年後には入学をゆるさぬ。この
の学校最優等生で出た。その後
ハラバマと言ふ所に又学校が創立さ
れるや満場一致の結果彼が此の学校
の校長としてむかへられしめた。
後年世界の人的にも偉大なる
影郷音をあたえしめた。

僕の嫌いな人

〔山谷川一夫〕

僕の嫌いな人と言へば悪人、商
賣人の一種、こゝき等である。
悪人は皆が嫌ひ、如く僕も嫌ひ
だ。間違つた道を取つた可愛そ
う人である。キリスト教では悪人
を善人に導ぶかうして居る。け
ど僕はそう言ふ人にはなせけと言
ふ物は無いと信じて居る。善人
を、あつぱくし、宣く害するに人
がある。今から十何年の昔のちや
あつた。家にどち棒が有り有金
残らず持つてめつてゐた。其
から一場嫌ひになり、此の頃ア
カ中をちびやかして居るキツ
プと言ふ悪い悪まの字は皆悪
人のしわざである。いくらくん
でもたらない人である。
次には商賣人である嫌ひな
多い。おー賣り、長居する柄な

商賣人が大嫌ひである。おー賣
等は、おれとも言はない中にのこ
と人の家へ込らうとしたり、ひつこ
くいらもしない品物を賣りつけよう
としたりすると其の場でなぐり倒
しても足りない心地がする。昨日
母がおー賣りに困つて居た。こ
言ふ人は女だといふので無利に賣
らうとするひけな役である。
つぎにこゝきである。仕るも一な
い、人の物を取つたり、何時ももらひ
食ひばかりして居る人間のくづで
ある。なんだか僕は虫がきらいであ
る。此の間でも生意氣なこゝき
と出合つた。もう少しでなぐり倒
す所であつた。其の言ふことは、
人がすんで居る家にいては立派な
さる。おー人は何もこゝきにやらな
いかと言つて盛に悪言を言ふとて
わにくい人である。
僕はこゝき言ふ人達が嫌ひである。
今からでもおそれなく好きになれ
ないだらうと思ふ。
(山内初美書)



私の尊敬する人

(12) 下村キクエ

尊敬すべき人物だと言ふ中から私がつとも尊敬しかつ模範とする人は明治いしんの女けつ！勤王黨の母といへ尊敬され居る野村未局である。彼の女は早く母に死別れたので家系の一切引受けると言ふに弟等のしつけから台所の事から何から何まで母に立廻つてゐる。十幾才の頃にはも一人前の女子といへる。教養を乞へて居た。かくいふ十八才の時は野村家に野村氏の後妻として嫁いだのであつた。彼の女には又此所に一苦勞が待つて居た。野村氏には先妻の男の子が二人居た。わんぱく者で其の上ひねくれ者であつた。まゝ子、母と言ふ間からやさへ駢然な空気が流れがちなのに、お我がまゝな子等は彼女がやさしく言へば言ふ程つけ込むと言ふ様に手のつけられぬ程であつたが、彼の女はなやまれども嫌はれども何んと言はれども決して怒らず、気を長く持ち、何時かは自分の眞心がつたはる物と熱心にやさしく道引いたのやあれ程こゝろや、あつた子等も實母に對する愛以上、に彼の女を愛親む様になつた。又彼の女は歌に對する一ゆみが深く夫の古くなつた後あまになつてゐる。

多に其の道に進んだ。キーン其の頃
日本一と言はれた有名な先生にみとま
れる様になつた。
彼の女が後世に名を残した事業は、
彼の女があまになつてから初まるのであ
る。
彼の女はともすれば、けつきにまかせ、早
まつた布をいぢちな勤王黨の者の
相談相手になつてやつたり又或はか
くまつたり、時には彼の女自しんの
命をも投げ出し、彼等をかばひ、
助けたのや彼等がらは實母の様に
親しまれ、尊敬される様になつた。

私の好きな人。

(12) 大月三根

遠い親類より、
近き友人。といふ語句が読座いさすが理解するにも及ばないやたと存じます。如何程親類だと言ひます人も気合はめ者はどうするやも出来ませぬか毎日毎月毎年と交際を續け人居る人とは本當に姉妹と同じ気持になれます。私の最も好きむ人は田中キミ子さんと申します。誠に若き女子や僅かに十七才や読座います。今にちります。私はどういふ此の方とこんな良き友になつたのやあらうかとつくづく考へて見ますれば、

今から五十年前、私がアデナ学校からカブトンへ轉校し、来た當時の事もありました。轉校し来たばかりの時から、知った友達は一人も居ない。其の時、本當に情ないやうに一人と人知人は居ない。一人は、つちや立ちくんや居すた時、見いらぬ一人の可愛らしい女子が、いらつーやい。と手を引つぱつて、他の仲間の方へと連れへ行つて下さる。私は、取ぐく人他の方々とうとう一人も遊べない。仲間から抜け出し、ベンチに坐り込んや、いやな布に合つた。と一人言を言つて居る所へ、同ト少女が来い。と私の顔へのやみ込んで、んやお尋ねになる。と幾度も、親切に進めんと下さつたが、遊びたくないの。と遊びたいのは、山々やあつたが、取ぐくさうな、うつかりと言つて、一まつた。さうや、私は私と一緒に。と向はれすた。

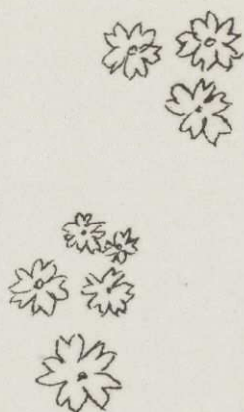
と終へへ、まつた。や、色々とキミ子さんのお話を聞か、私もキミ子さんに、アデナ学校の話を、上げ、と居

る中に、本當の仲好しと、ちり、何時の間にか、私と子さんと、一諸に遊んや、勉強をする布を、樂木一みと、居りすた。

私の最も好きなる人物は、中、キミ子さんと一人やある。二人は、嬉し、い布があつた。なら、話合つて、喜ぶ。又、悲し、い布も、話合つて、うたふ。うか、と、二人の頭の中や考へる。

私は、如何なる布か、考へ、いす。ても、田中、キミ子さんと、縁を切る布は、なかうと、固く、信じて居ます。

大月 高根 畫





私の嫌な人

豆村田八重子



私が通つてゐる学校に一同から変人と決められた法律の先生がある。神経質の彼は何時も苦い顔をしてはれものにもさわる様な不愉快な感事させるもの。先生方には生徒にもさけられ一日中一人ぼつち自分の教室にとこもつてゐる。放課後にちろと生徒が宿題に困つてゐるのにあかまわすさつと帰つて行く。こうした操に先生は近寄らせないので先生と親しくなる機会もなく遠くから彼の缺點だけ重なり失礼ながらも底能に決めてゐる。

法律の時間には五六分遅れ一未平気な顔をしてゐる者も少なくない。そして先生が遅刻の理由を尋ねると法律の時間より他の先生の時間があつたと大平と法律の先生を馬鹿にした様な返答をする。他の先生であつたならばその生徒を責めるであらうが此の先生はうんとお言はない。教室が静まると先づ黒板をなぐつて「やせた首に結んだネクタイをいれたリ緩めたリして生徒の前に立つ。夕べの宿題を説明して下さると思つておれば思ひがけぬ事を言ひ出す。人おは二つの心があるのだ。私は達が普通使ふ心と私共が希望の心とを底に落ちた時や悪くするを犯さんとする場合に

導きつけてくれる心である。お前は以前でないので。毎七年度全体全体が変るからお前は以前でないのでと言ふのだと法律に一寸も関してゐない事を鐘がなるまでしやべり続ける。先生を疑ふ者があれば先生は火の操になつて自分の理屈を通す。

彼は時間を當てる事を自慢にしてゐる。それで彼はよく講義を突然止め「何時だらうかと尋ねる。後の方から九時十分過ぎと言ふ声がする。しかし先生は聞かずに真面目に言ふので皆はわつとさ出す。中には頭を軽く叩いて眼で合圖をする者もある。すると先生は腹をさして私を信じないといふ。私は自分を信じてゐるからやめて置け。私は自分等が勝手にするがよいと机の後にいこもつて「それきり口をきかない事が愛々である。

又或時には逆立が非常に上手とほらをふく。いよいよ彼を馬鹿にしてしまつた私共は先生の逆立を見物したいと先生を責め出した。もう年と一たからどうか知らんと先生は言ひわけながら本氣になつて袖をまくり始めた。両手を机について足を空にけり上げては体をさげらうとするのがある。足をけり上げては落ち落ちはまたうとするのである。彼はとくへとくへに腹水。一ぱちやんと落ちた儘たけてゐた。先生たる者がこんなことをするとは思はれぬ。しかし彼は次か次かう言ふ変な事をし続けた。そして夏休みが近づいた頃大変だ

仕平を半分もやつゝのやいと騒ぐ程一寸も先生としゝ尊敬する所がない。うーいこ人も変人を先生扱ひが出来よう。お気ばたしかですと尋ねたい程である。
(物本さき子書)

私の好きな人

西鈴川深



私の好きな人は大膽で正しい事を何所までもやりとほす。之に一番適合する人物は獨逸總統ヒトラーと云ひます。

ヒトラーはオーストリーのグラナツに生れ青年になつてを傭兵所の見えなうぼんいんであり政治に全く無興味な氣樂な労働者でありました。けれども此の性質をまろむつくりかやしたやうな今日のヒトラーをつくり上げたのはあの恐ろしい世界大戰であつた。

彼は戰爭つばつ當時早速出征軍人となり祖国の爲に活躍し重傷を二度とも受けて長い入院して居た。彼は入院して居た時銃後の人々の生活狀態を知り戦場では軍人の苦勞を経験して居たから軍隊と銃後の人々のつなせつな關係をよく覺へて居た。彼が丁度病院から出た時獨逸に内亂が起つた。其の内亂をくわだした人々は全

部ジュウ系市民であつた。彼等は出征せず獨逸を世界共和國の一つにしよと何時も計つて居る人種であつた。ヒトラーは此の人々が獨逸國を何時の間に滅すにおよばないかと歎き此所で初めて政治家になる決心をしました。

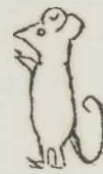
先づヒトラーは自分の政治的思想を親類友に説きだれは皆「貴下は決して選んで居ない其を大いにやれとおぼんして呉れました。此の方法で多くの人は感化されど水もナツナ化されしゝまひました。其から彼は演説會に出ゝ反對思想を倒ししゝ全國の注目を得た。此の機會を利用して大演説をやつゝ内亂を起した。が此はヒトラーは五年宮中らうやの中に閉じこめられ居るがれはならなかつた。

五年間の苦心の結果とつゝ獨逸總統になられました。そして彼は決心通り獨逸系民族の統一と革命的運動を断行してある。五月前のオーストリー合戦も此の決心断行の一步であつた。私は彼の強い意志正しい事を戦争しても断行する勇氣に感動され彼を愛せずには居られぬ。

(物本さき子書)



私の尊敬する人 近武井純夫

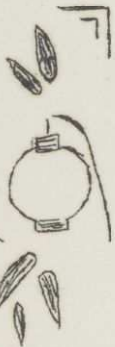


自国の興廢の運命に接した時、良く此の危難に勝つて自国に勝利を挙げたい人、大英帝国のネルソンと我が大日本帝国の東郷元帥がある。前者は英国が佛国と争つてゐる時、司令官として度々の海戦に佛国艦隊を撃破し、一十八百四年佛国の勇將ナポレオンが率ゐる佛西聯合艦隊をイギリス海峡のトラファルガーに迎へ、ネルソンは苦戦の結果これを破り、自分自身も重傷を負ひ、同日戦死したのである。後者は日露戦争の時、日本聯合艦隊司令長官として露国艦隊を撃破する、數回に、一、九百五年有力な露国大西洋艦隊を日本海で迎撃し、敵が全滅する程迄に大勝利を得たのである。此の兩將軍は名提督であつたばかりでなく、大偉人でもあつた。現在の人の十中の七へ迄は兩將軍を尊敬してゐるだらう。私も其の一人である。が、當に言へば、私は東郷元帥をうやまふ心はネルソン提督より以上である。元帥は少年困からもう其の人がなつて居た。彼は負ず嫌ひで約束は實

行するし、さもつたまがすはり、行義をわきまへ、勉強好きで、両親には孝行、安良に神の擡ち人だつたやうだ。負けず嫌ひと勉強が好きなる。について、こんな話がある。まだ学校に行きはじめた時分、彼はどろどろと一番に行かざうと気がすまらなかつたやうだ。或冬の日、彼は今日も一番と学校に行くと、一番ではあつたが、あつたが門は閉つてゐる。少く待つてゐたが門は開きやうにもない。雪が降つてゐるので、其の中に寒気がさして来たが、彼は本を出して、それを大きな声で讀出した。其の中に門番が声を聞き付け、門を開けたやうだ。此が若く我々だつたら、雪が降つてゐるのを見たら、もう行く氣にならず、行つた所、門が閉つてゐるのを見たら、帰つて来るに違ひない。これは元帥のほんの話だ。また、外に澤山あります。私は元帥の像を持つてゐます。そして何か悪い事をすると、此の像を見ては心を直します。彼は二十世紀の名提督であつたばかりでなく、二十世紀の偉人でもあつた。(鈴本三子書)

私の尊敬する人

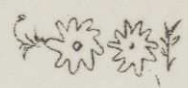
近藤藤道子



約ちかです。よし寺と色々教へて上げた。之
 もミセス遠藤のおかげで教へて上げる事
 が出来たのだと思つて大変嬉しうた。
 契機は移すや面白くなかつたが何時かは新
 づに習つた事を巧にちるのだと気がつ
 いて此の頃は毎日移すを少しづつ讀んで居
 る。私は遠藤先生程尊敬する人はない。
 一生懸命に勉強しても恩返しをしたい
 と思つて居る。

「お父さん、私にお手紙？」と私は郵便を取りに飛んだ父にキッと答へた。「あるよ」と仰ると私は飛び上る程嬉しい。私にはお友達も、お便りも何よりも嬉しいが、甘の中でも、リースのお手紙は特別である。リースラペーチは三年前からのお友達である。親友と言ひながらも彼女はアメリカの东、北岸のヴァーマント、私は西、岸の加州、三十三哩離れてゐるが、私達のお友達は変わらぬ。

いふ所が、色は白く頬紅で
もさしたやうな紅い頬をしてゐる美
しいと言つた程でもないうへ何となく後
いく上である。
ルースは勉強家である。生れつき賢
いので、いちか二かにも心を打ち込
んでやるので成績もいい。彼女が讀書
が書で、何冊も書物を讀んで居た。
海はいとお友達が出来て喜んでゐた。
おそれもなく来るであつた。彼女は再び
ヴァーマントに帰るやうになつた。
折角仲好しになつたのに二人共に早とお
別れる事になって了。



僕の嫌ひな人

(正佐木武)

嫌な人考へて見れば僕のしつ
て居る人でも先づ一番先に僕の
頭には浮んで来るのは、其の理由
は澤山あるが、主のわけは僕等が
市場に荷物を持つて行く度事
に仕事はくれと言つて飛んで来
る。又仕事はないと言へば君は
ユニオンメンでなければ荷物を下
ろす事は出来ないと言つて僕等
等をおとしして仕事をもらふつ
もりで居る。又仕事をもらふは小
僕等も初の中は何も知らなかつ
た。たしか彼等の言ふまゝにやつて居
たが、今では何時も知らぬ顔をし
て合手にしてやらなかつた。今
度ははなから諭しを出し僕は年
が若いから働く事は出来な
いと言ふた。僕等はこんな
時もし自分かもうすし大
いからだとして居たならは
えん飛してやるかと何時も思つ
て居るのである。其はおそろしく

僕はかりでなく大く他の人をお
なじ考へて持つて居るだらう
と思ふ。
之が僕が一番嫌ひな人達であ
る。

私の好きな人 (正谷口正子)

近所に美代子さんと仰る私の
好きな人がある。十五才ではあ
るが、体の小さい。美代子さんは五
人姉弟の中、一番年上で、十才
の姉さんと三人の小さな弟さんか
ある。美代子さんのお父さんとお
母さんは毎日朝から晩まで忙
居る。それで美代子さんは小さい弟さん
達のお世話をしなければならぬ。
或日は私は美代子さんのお家
遊びに行つて見た。
美代子さんとお呼びすると、中
から小さい弟さんを抱へて出て
来て、入つて見ると、室の中は何か
ら何まで行と書いてよく調つて
居た。
小さい弟さんのお世話をなさるの
によくお掃除が出来るのね、と云
ふと。

何でもないの。とお笑ひになつた。
 美代子さんは何時もの様に無し
 やゝ愉快で、色々面白いお話を
 した。昨日より手を遊んで、私がお母
 さんになりましたの。姉が大きな姉
 さんで、弟等が子供で、私は長い
 着物を着て、口紅をつけて遊んで
 居たりしました。お客様がお見え
 になりましたので、大さうざした
 話と、其の時の様子を面白くお
 話なさつたので、私は大笑をした。
 美代子さんは此様に面白くお
 話で、皆に好かれて居る。私も美
 代子さんとお附き合ひをするのが
 楽しみである。

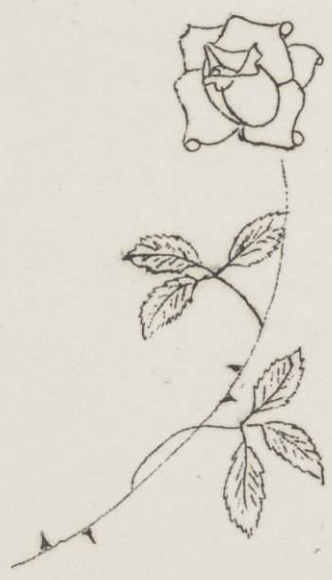
僕の尊敬する人物

サ 安倍富実

僕は某に命を毎にその人の
 格に心を打たれ、そしてその人の
 尊い過去を思ふ時、その人の
 は自然と尊敬の顔に見え、
 某は宗教家で、字に「理」
 あり、其の宗教の時には、
 想に近しいもの、説きまゝ、
 して、其の過去は、説教の通り、
 のです。苦を自ら求め、修行
 した立派な宗教家です。学

同をして、学んだ智識を説く
 のみでなく、實際に生きた説教
 で、そうして、眞に生きた説教
 をするのです。暇々には、常の
 教を本にして、よくお話を
 彼を立派な宗教家として、
 し上げたのは、自らを、
 と云ふ。彼の精神、
 いや、又、彼の精神、
 年々、彼が、
 を、實際に、
 其の生活に、
 尊敬すべきです。

（植田）人書



私の尊敬する人
田加藤妙子

母を敬ふと言ふことは当然であるが此
 の世には両親を尊敬しない者が少
 くないと思ふ。
 私は父を模範として居る。言つた事は必
 らず實行し又時間に對しても清潔の
 点において、いつもきちやうである。
 朝は必ず髪を洗つておひげをそる。
 朝に着合があるから洗へないと思へ
 ば其の前晩にして置く。私は
 失を側で見て居て本當に感心し
 て居る。
 父は健康にとてよく注意を拂ふ。
 毎朝々々御飯前には必ず果物を八
 入れて飲み一日には必ず果物を八
 つ位食ふ。父は姿勢の事でや
 ましい道を歩くには勿論の事、寝
 る時までちゃんと胸を張つて手を胸に
 さちんと当てる。可笑しい事にはテニ
 スをしてボールを拾ふ時も球を打
 つ時にも姿勢がよくやつて居る。自
 動車を走らせるときも北月中旬を直
 に頭を上げ、あごをいきなり車
 ハンドルを握生大事にと廻して居る。
 歯を一日に五六ぺんみがいて健康に
 充分注意をするので私は父が病氣
 で床に就いてゐるのを、未だかつて見
 た事

なつた頃は学校の一人のリーダーとも
呼ばれる様になつた。引込みとあ
ひはれは出来なかつた。其の
で何と云ふでも友達といふの初美
さんとは私に学校の後援に出る様に
あつた。強いては友の励まし
に私は唯一のリーダーと居られた。初美
十年生の幹事と云ふのも初美
さんのお陰だといふ。或る席に
ゐる。又私がお病気で学校を欠席し
た時には忘れずに毎日手紙
を下さつたのは彼の女であつた。
ハイスクリルに入學してからは一日
と内れた時はなかつた。其を命
妹と間者へる者が度々あつた。
何時も私に切に下さる。初美さ
んは私の大好きな人である。
(松下好子書)

私の尊敬する人 (石井清)

尊敬する人物。市場に野菜があるが
如く。そこには居ない。である。で此処に
自分の尊敬する人物を掲げることは平
易でない。何と云ふは字そのものの尊
敬する人物の解よりによつては人
変つていくような気がする。である。
僕が次に掲げる人物は好きとか外観
有良なるが爲にある。心から彼の動
め動に敬してゐるからである。自分は自
分の尊敬する人物として近藤勇を

掲げる。彼は皆好も仰存のこと
と思ふが徳川幕府の忠臣であつた。
幕末時代最早で徳川幕府の運
命を知りつ。旅軍奮闘遂に戦
場の雨と消えてつた。
僕が此処に近藤勇を尊敬する人
物と掲げたのは大なる理由が
ある。それは彼が智者であり仁者
であり又仁者であるからである。
智者として彼は早くから幕府
の運命を知つてゐたことである。又
仁者としての彼は餘りにも世の人々
から知られてゐる。よき一例は彼の友
対浪童王の志士で当然一刀のさびにな
るべき人物でも未来望みある人物
とか、知己関係の爲に見の加つた者
である。
当時のかつら小五郎、後の水戸孝元
もその一人であつた。
忍者として彼も又よく知られて居
る。彼の特選組隊長時代、自分の
部下の前ではづかしめられたが無
益の殺生を嫌つた彼にいつと加
へて通つたことである。然しなが
ら僕は此処に近藤勇を挙げたけ
れども、自分の青史、世史の歴史を
見れば、色々の方面で近藤勇力以上
の人物は、さうにあることは云ふまで
ない。
人間は非常に不合理的なもので
乃木將軍はよき例である。將軍

生存中は方々より非難を受けて居たが將軍死して今日にはめでたき光景が出て遂に軍神とまであがめられるやうになった。

僕はここにもう一つつけ加へて置きたいことは尊敬する人物地方にも多くあるのである。遠く藤先生の説によれば、先生の村の村長で非常中に感心な老人があられるやうだ。僕はちよつと聞いただけであるが、かかる人物は修身書にのつてもよいと思ふ。彼等は誰か親で尊敬する人物のよき例先生である。親である。誰がこの世の中で自分の利害をすて一意専心身も心も捧げてくれるものはあつないかある。かかる見地よりして尊敬する人物を指定することは難問題であつて大さんにあるやうである。

(山内初美書)



カンパトン西学園の歌

一、羅府近郊に

吾がカンパトンの
智あり徳あり
優秀市民
使命をにないて
学び家こそは
名を知らる
地を選び
勇気ある
養成の
生れたる
我が学園

二、我が師の教訓

智徳を磨き
日系市民の
吾等が尊き
いざや励まし
学びの時機の
身にまとい
心を練り
名を成すは
義務なり
諸共に
追ぎぬ間に

(山内初美書)

綴方コンテスト文集

發行者
發行所

遠藤幸四郎
北米加州カンプトン學園

THE COMPTON JAPANESE SCHOOL
620 Rosecrans Avenue,
Los Angeles, Calif., U. S. A.

電話 Menlo 4-2390

【刷印洋平太 府羅】